

# いろいろな国の 人と交流しよう！

## 沖繩にはどのくらいの 外国人がいるの？

### 190以上の国や地域の 2万591人が暮らしています



令和2年度に県が実施した調査では、県内に190以上の国や地域の2万591人の外国人が生活していることがわかりました。近年ではベトナムやネパールといったアジア諸国の人々が急増しています。また、沖縄で生活をする上で、日本語がわからず行政サービスを受けられない、やりたい仕事につけない等の悩みがあることがわかりました。

行ったり、日本人向けに、外国人にも伝わりやすいやさしい日本語を学ぶワークショップを実施しています。

また、県内の各国際交流協会では定期的に交流イベントが開催されています。各国の料理や言語を学んだり、スポーツや季節行事を通じてふれあうなど、内容は様々。興味を持った分野や国があれば気軽に参加してみましよう。相互理解を深めることは、誰もが安心して暮らせる社会づくりにつながります。

## ウチナーネットワークって何？ どんなことをしているの？

沖縄は琉球王国時代から様々な国や地域と交流を深めながら独自に発展してきました。ネットワークをさらに広げ、文化や歴史を未来につなぐ国際交流の取り組みを紹介します。

### 沖繩に縁のある人々のつながりです 互いに交流を深め、沖繩の文化を 未来につなげていきます

ウチナーネットワークとは、沖縄県民と国内外の沖縄県系人（県出身者や子孫）や沖縄と縁のある人々が、歴史、文化、経済などあるゆる分野でつながることです。コロナ禍においても、多言語WebサイトやSNSを活用したオンライン交流が盛んです。

沖縄の海外移民は、1899（明治32）年、26名がハワイに出發したことが始まりです。海外のウチナーンチュの数は推計約42万人\*で、沖縄独自の伝統や文化、アイデンティティを受け継ぎながら国際交流の架け橋となつています。

ウチナーネットワークの構築を目的に始まった「世界のウチナーンチュ大会」は、今年で7

と交流の基盤づくりに取り組んでいます。海外の県人会や民間の交流団体でも、沖縄県や自国の自然・文化を紹介するオンライン講座を開くなど、自分たちができるやり方で交流を続けています。

第7回世界のウチナーンチュ大会  
https://wuj2022.com/ja



\*平成28年度県交流推進課調べ（北米、南米のほかに平成28年時点の県人会会員数）



県在住外国人との様々な交流を通してお互いの文化を知り、理解を深めることで、沖縄から世界中に交流の輪を広げていきます。

### 県内での取り組み例を紹介



タイダイ染め 子どもたちの作品



2020年に実施したフードバンクイベント

### 多彩なイベントで交流 県民と在沖外国人の架け橋に

「浦添市国際交流協会」では、料理講座や親子国際交流などの様々なイベントをはじめ、JICA沖縄と共催イベントなども開催しています。

子どもたちにSDGsを学んでもらう講座も定期的に開いており、昨年は外国人講師と古着のTシャツを使ったタイダイ染めをし、海外の染め物文化やリサイクルについて楽しく学びました。新型コロナウイルスの感染が広がった一昨年には市民や会員に食糧寄付を募り、多くの協力のもと、留学生たちに食糧支援を行いました。同協会の活動を通し、参加者同士が仲良くなり、交流の輪が広がっています。

浦添市国際交流協会  
https://okinawaura.wixsite.com/ura



### 人材育成や教育を通じて 沖縄と海外を繋げる

「特定非営利活動法人沖縄NGOセンター」は、地域の外国人と日本語を学びあえるサークルや、ワークショップなど様々な国際理解イベントや講座を開催しています。県内の団体・小中高等学校への出前授業では外国人ゲストとの交流だけでなく、子どもたちに五感を通じて世界のことに関心を持ってもらう活動を行っています。事務局スタッフの新藤朋子さんは、「交流を持ちたいのは私たちも外国の方も同じです。外国語が話せなくても言葉をゆっくり話すと案外通じますよ。身近な外国人に目を向けて歩み寄ることが国際交流につながります」と話します。

特定非営利活動法人沖縄NGOセンター  
https://www.oki-ngo.org/



県内大学で意見交換会。県在住ベトナム人に学生がインタビューしました。

## 私にもできる SDGs

### やさしい日本語を使おう

外国人と話す時は、難しい日本語よりも簡単でわかりやすい言葉を使うと意思疎通がしやすくなります。難しい言い回しはやめて、短く、シンプルに、言いたいことをまとめます。身ぶり手ぶりを交えたり、ゆっくり話すとより効果的です。漢字にはルビ（ふりがな）をふるのもおすすめです。

